	平成 24 年 2 ( 2012 年)	月 29 日
吹田市長	あて 住所 大阪府吹田市高浜町4	-46
	※注1 株式会社アルドーレ	
	スタイプ 氏名	(FI)
	電話 ( 06 ) 6383	<b>–</b> 4392
事業の名称	(仮称)S計画	
対 象 事 業 区 域	吹田市 高浜町4-46	
※注1	住 所 東京都港区海岸2-1-18高丸ビル7F	
   設計・代理者	一級建築士 木村榮一郎 氏 名	
	電 話( 03 ) 6459 — 4022 (担当者: 横	edi.
	<ul><li>电 品( 03 ) 6459 - 4022 (担当者: 検</li><li>住 所 大阪府大阪市都島区都島北通2-23-7</li></ul>	<u>і</u> Ш )
※注1	株式会社会沢丁務店	
│ 工 事 施 工 者 │	氏 名 代表取締役 金沢孝昭	
	電 話 ( 06 ) 6925 — 2567	
事業予定期間	平成 24 年 ( 2012 年) 月	日から
事業予定期間	平成 24 年 ( 2012 年)	月 日まで
	計画部分  既存部分	合 計
	対象事業面積 2,310.47 ㎡ 0.00	m 2,310.47 m
	建 築 面 積 1,590.96 ㎡ 0.00	m 1,590.96 m
事業の規模	延 べ 面 積 7,183.08 <sub>㎡</sub> 0.00	m 7,183.08 m
	最 高 の 高 さ 24.40 <sub>m</sub>	m
	鉄骨 造・一部 構 造 ・ 階 数	造
	地上 7 階・地	b 下 0 階
		折 設 □ 増 設
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業	
	□ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的	)
	② 建築物の新築又は増改築の事業	_, _
事業の目的・内容	│	戸)
		ŧ的建築物│ 、│
		) )
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業	受 付
理技士とベノリの中央	□ その他( )	
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる	
	・ガイドライン取組事項チェックリスト	
添 付 書 類 	・工事関連車輌通行ルート図 ・その他必要と認める図書	   第 号
I	「、ツ心ツ女に恥める凶音	<b>」</b>

# 環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針 事業活動を通じて地域社会への貢献を目指し、環境への影響を最小限にとどめる様努めます。

当該事業における <mark>敷地内及び壁面緑化を行い、CO2の削減に努め、「吹田市環境まちづくりガイドライン」に基づく建物 環境まちづくり方針</mark>計画を目指します。

#### 1. 実施率と主な実施内容

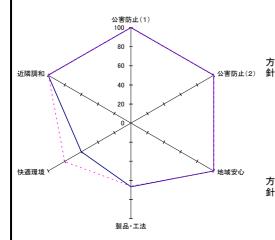
### 1-1. 工事中

94 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施する・一部実施するの項目数 47 該当なしを除いた項目数 50

---:方針(案), —:方針

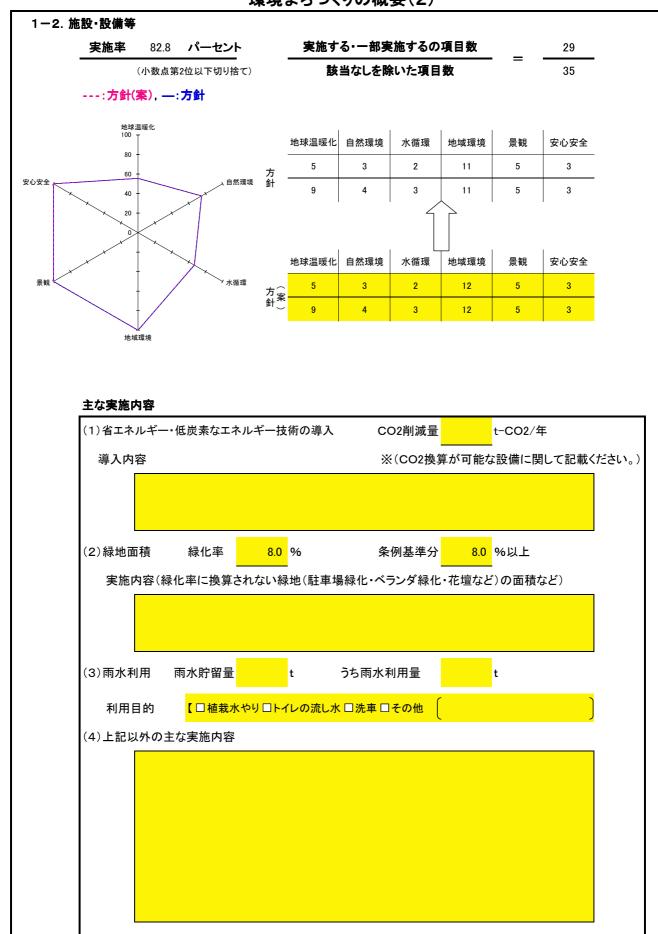


	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
5	20	15	5	2	3	2
<del>]</del>	20	15	5	3	5	2
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
· 字 十	20	16	5	2	4	5
†**	20	16	5	3	5	5

### 主な実施内容

1.工事車両運行経路については、周辺道路の状況や住宅立地状況に配慮致します。 2.工事方法については近隣住民に配慮し、出来る限り低騒音・低振動型の建設機器を使用致します。 3.近隣住民に連絡先等を周知して、お願い・苦情等あった場合には、迅速に対応致します。

# 環境まちづくりの概要(2)



# 環境まちづくりの概要(3)

2. 方針(案)からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
28	実施する	該当なし
50	実施する	実施しない
53	一部実施する	該当なし
54	一部実施する	該当なし
55	一部実施する	該当なし
56	実施する	一部実施する
65	実施しない	実施する
69	実施する	実施しない
84	一部実施する	該当なし

3. そのfl	3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)								

### ●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項		実 施	の有り	<b>#</b>	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚	染や騒音などの公害の防止します。					
建設機	械					
1	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設 機械を使用します。	☑ 実施す	る		一部実施する	排出ガス対策型、低騒音型、低振動型建設機械の使用については、施 工計画において可能な限り導入する様にします
			実施しない		] 該当なし	
2	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワー ショベルなど)を使用します。	□ 実施す	<sup>-</sup> る	V	一部実施する	低燃費型の建設機械の使用については、施工計画において可能な限 り導入する様にします
	21 70 BC/2 K/110 B 7 8		実施しない		該当なし	747(7 SIMICOS 7
3	排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしま せん。	☑ 実施す	-る		一部実施する	新規入場者教育時に、該当作業員に対し教育を行い、空ぶかしの禁止 やアイドリングストップを指導します
	2700		実施しない		該当なし	ドア・ロ・フンストランと日待しよう
4	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	☑ 実施す	<sup>-</sup> る		一部実施する	新規入場者教育時に、該当作業員に対し教育を行い、空ぶかしの禁止 やアイドリングストップを指導します
	2110 37 0		実施しない		該当なし	( ) II ) > ) ( ) E   II   O ( )
5	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、 稼働台数を抑制します。	☑ 実施す	~る		一部実施する	効率的な工事計画を立て稼働台数を制御します
	「外関ロ奴で」中でしより。		実施しない		該当なし	
6	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準 化を図ります。	☑ 実施す	<sup>-</sup> る		一部実施する	工事計画を立て一時的に集中して稼働しないよう工事の平準化を図る よう努力します。
	10 C 10 7 6 7 6		実施しない		該当なし	67577067.
7	機械類は適切に整備点検を行います。	☑ 実施す	-る		一部実施する	定期的に機械類の整備点検をおこないます。
	INCIDENCE SILCE IN WINCE II A C 1 0		実施しない		該当なし	
工事関	連車両					
		口 実施す	-a			
8	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用します。 す。	□ 美施9	実施しない		-1	燃費や排出ガス性能の良い車両を極力使用するように努めます。
		図 実施す	- z		一部実施する	
9	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車 両で確実に遵守します。	☑ 美施す	実施しない	_	-1	大阪府条例に基づく流入車規制を遵守します。
		□ 実施す	- z	_	一部実施する	
10	工事関連車両であることを車両に表示します。	□ 実施す	ବ		一部美肥する	工事関連車両であることを車両に表示するよう努めます。
			実施しない		該当なし	
11	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺 道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、 一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて	□ 実施す	る	V	一部実施する	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立 地状況などに配慮し、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けるよ
	設定します。		実施しない		該当なし	う、施工計画において可能な限り検討するようにします。
12	建設資材の搬出入計画において、適切な車種	☑ 実施す	-S		一部実施する	建設資材の搬出入計画において、作業ごとに適切な車種を選定し、車
	を選定することで車両台数を抑制します。		実施しない		該当なし	両台数を抑制するよう努めます。
13	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、 二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨	□ 実施す	る	v ·	一部実施する	作業従事者の通勤、現場監理などには、極力工事関連車両を抑制する よう喚起します。
	励し、工事関連の車両台数を抑制します。		実施しない		該当なし	67%REU670
	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際に は、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しま	☑ 実施す	る		一部実施する	ダンプトラックによる土砂の積み下ろしの際には、騒音、振動や土砂の 恐時はよとなる土みの積み下ろしの際には、騒音、振動や土砂の
	<b>क</b> ं		実施しない		該当なし	飛散防止に配慮するよう努めます。
15	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現	☑ 実施す	- శ		一部実施する	周辺への土砂粉塵飛散を防止するため、車両の出入り口でタイヤ洗浄
13	地でタイヤ洗浄を行います。		実施しない		該当なし	を行ないます。

	取 組 事 項		実 施 の 有	· 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際に は、騒音や水質汚濁に配慮します。	V	実施する	一部実施する	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 十分に注意して作業を行うように配慮します。
17	工事関連車両を場外に待機させません。		実施する ☑	一部実施する	工事関連車両を極力場外に待機させないよう、施工計画において可能 な限り検討する様にします。
18	クラクションの使用は必要最小限にします。	V	実施する	一部実施する	クラクションの使用を必要最小限にするよう、新規入場者教育時に、該 当作業員に対し教育を行ない指導します。
	ナギャルショネに減ま回るもめ、マノいい。	V	□ 実施しない 実施する □	□ 該当なし 一部実施する	当1F未貝に刈し扱用で1Jはい指导しより。 自動車排出ガスの低減を図るため、新規入場者教育時に該当者業員
19	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。		□ 実施しない	□ 該当なし	に対し教育を行ない、空ぶかしの禁止やアイドリングストップを指導します。 
20	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	Ø	実施する □	一部実施する	自動車排出ガスの低減を図るため、新規入場者教育時に該当者業員 に対し教育を行ない、空ぶかしの禁止やアイドリングストップを指導しま す。
□事方法 騒音・排					1
21	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置します。		実施する ②	一部実施する	遮音性の高い仮囲いや防音シート、防音パネルを設置するよう、施工計画において可能な限り検討するようにします。
22	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行います。	V	実施する □	一 一部実施する	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行う様努めます。
23	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない 工法を採用します。	Ø	実施する	一部実施する	杭の施工などの際には、騒音・振動の少ない工法を選定するよう努め ます。
24	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。		実施しない	一部実施する	重機作業等、騒音・振動を伴う作業については、出来るだけ近隣住民 に配慮する様努めます。
₩\) °	・アスベスト		□ 実施しない	□ 該当なし	
25	紀休 堀削作業かどの際にけ 勘水を十分に	V	実施する	一部実施する	解体・掘削作業などの際には、散水を十分に行ないます。
26	土砂などが露出して飛散のおそれがある場合 は、シートで覆います。	V	実施する	一部実施する	土砂が露出して飛散の恐れのある場合は、シート養生を行ないます。
27	建築物などの解体の際は、アスペストの使用の 有無を調査するとともに、調査結果を近隣住民	V	実施する	一部実施する	調査の結果、既存建物にアスペスト使用は無く、関係する法令を遵守し
۷1	の見やすい位置に掲出し、市長にも報告します。 -	<u> </u>	□ 実施しない	□ 該当なし 一部実施する	対応します。
28	アスベストを含有する建築物などの解体の際には、確実な飛散防止措置を行います。		実施する	□ 該当なし	既存建物にはアスベストの使用はなく、飛散防止措置はおこないません。
水質汚	5濁·土壌汚染·地盤沈下 ┃				Т
29	道路などへの濁水や土砂の流出を防止します。	V	実施する □	一部実施する	道路などへ濁水や土砂の流出防止については、施工計画において可能な限り防止するよう努めます。
30	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶 や塗装器具の洗浄液は適正に処分します。	V	実施する	一部実施する	塗料などの揮発防止、使用済み燃料缶や塗料危惧の洗浄液は、適正 に管理します。
31	土壌汚染の状況を調査し、汚染物質の拡散防		実施する	一部実施する	府条例に定める3000㎡以下の敷地のため調査義務は無く、また過去に 工場等の土壌汚染をするような用途の履歴はないため、特に調査は行
01	止措置を行います。		□ 実施しない	☑ 該当なし	ないません。

	取 組 事 項		実力	布の有	無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない 工法を採用します。	☑ 実妨	重する 実施し	□	一部	3実施する 該当なし	地盤改良を行う場合には、土壌や地下水を汚染しないよう、適正な工 法を選択します。
33	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。	☑ 実妨	をする 実施し	ない	一部	3実施する 該当なし	周辺地盤、家屋など近隣への影響を十分に配慮した工法選定に努めます。
悪臭・原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	I					1
34	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、 溶解温度管理など臭気対策を行います。		する			3実施する 該当なし	アスファルトを溶融させる際には、場所の配慮、溶融温度監理など、臭 気対策をおこなうよう、施工計画において可能な限り検討するようにし ます。
			実施し	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		該当なし	
35	現地では廃棄物などの焼却は行いません。	□ 実材	igする 実施しi	ない	一部	3実施する 該当なし	現場での廃棄物焼却はおこないません。
	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB						
36	所体を行う工事の原は、保官されているアロ 使用機器、空調機器などに使用されているフロ ン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実 施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な 処理を行います。	☑ 実妨	iする 実施し	ない	一部	3実施する 該当なし	PCB、フロンを使用した機器は無いようですが、万一存在する場合には 適正な処理を行うよう努めます。
37	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行 します。		をする 実施し		一部	3実施する 該当なし	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮をおこなうよう、施工計画において可能な限り検討するようにします。
			×,,,,,,,		Ц	IX 3.50	
地域の3	安全安心に貢献します。						
38	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取 りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防 止に努めます。	実防	重する 実施し	☑	一部	3実施する 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りをおこない、十分な人数の警備員を配置し自己防止に努めるよう、施工計画において可能な限り検討するようにします。
39	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事 現場周辺の交通安全に配慮します。		重する	ない	一部	3実施する 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮するよう、施工計画において可能な限り検討するようにします。
40	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じます。	☑ 実妨	iする 実施し	ない	一部	3実施する 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入り口に施錠するなどの防犯対策を講じます。
41	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。		をする 実施し			3実施する 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけを行うように誘導員 に指導します。
			天心し			政当なし	
42	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に 参加します。		iする 実施し	<b>∀</b>		3実施する 該当なし	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に可能な限り参加します。
			天旭じ			政当なし	
塚境に	配慮した製品及び工法を採用します。						
省エネ	ルギー	1					T
43	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、 エ事中に使用する燃料、電気、水道水などの 消費を抑制します。	実施	更する 実施し		一部	3実施する 該当なし	工事中に使用する燃料、電気、水道水の消費を抑制するためのエネル ギー効率の良い機器の導入などは、現段階での導入は未定です。
		V	×,,,,,,,		ш	IX 3.50	
省資源	i .						
44	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。		でする 実施し	☑	一部	3実施する 該当なし	掘削土が良質土であれば、埋戻し等に使用するよう検討します。
			~/iiiO/		ш		
45	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量 します。	図 実施	iする 実施し	ない	一部	3実施する 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量するよう努めます。
快流か	 環境づくりに貢献します。						1
景観							1
46	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した 上で、景観面にも配慮します。	□ 実 <sup>財</sup> ☑	をする 実施し	ない	一部	3実施する 該当なし	一般的な仮囲いとする予定ですが、景観面にも拝領するよう努めます。
		_			-		I .

	取 組 事 項		SPI A	実施の	有 無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	
47	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を	Ø	実施する		一部	実施する	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないように設置場所 をくふうするなど、、施工計画において可能な限り検討するようにしま	
.,	与えないよう、設置場所などを工夫します。		口 実	施しない		該当なし	す。 	
割辺の	環境美化							
	工事現場内外を問わず、ボイ捨てを防止し、周 辺道路の清掃を行います。	v	実施する		一部	実施する	工事現場内外を問わずポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を可能な 囲にて対応するよう努めます。	
	<b>辺垣町の利用で刊いるす。</b>		口  実	施しない		該当なし	四にて対応するようがのよう。	
49	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いま	v	実施する		一部	実施する	建設資材、廃棄物などの場内整理整頓を行います。	
	す。 		□ 実	施しない		該当なし		
ートア	マイランド現象の緩和							
50	夏期において水道水以外の用水が確保できる 場合は、周辺道路などに打ち水を行います。		実施する		一部	実施する	雨水利用は予定していません。	
	場合は、周辺追峰はCに打ら小を行います。		☑ 実	施しない		該当なし		
	明・苦情対応 近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程 などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況 と今後の予定をお知らせし、理解を得るように	Ø	実施する		一部	実施する	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、ま 工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、近隣住民の理解?	
	します。		口  実	施しない		該当なし	得る様努めます。	
	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先など を掲示するとともに、苦情が発生した際には真	V	実施する		一部	実施する	工事に関しての苦情窓口を設置し、連絡先を掲示するとともに、苦情 発生した場合には真摯に対応するよう努めます。	
	摯に対応します。		□ 実	施しない		該当なし	光エンに物口には共手に対心するより方のよう。	
見辺の	教育・医療・福祉施設への配慮							
	工事実施前に工事概要、作業工程などを十分 説明するとともに、施設での行事や利用状況に		実施する		一部	実施する	周辺に教育・医療・福祉施設はありません。しかしながら、工事実施前 に工事概要、作業工程などを近隣へ十分説明するとともに、近隣での	
	配慮した工事計画にします。		□ 実	施しない	V	該当なし	行事や利用状況に出来るだけ配慮した工事計画とするよう努めます。	
54	騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をします。		実施する		一部	実施する	周辺の教育、医療、福祉施設への騒音、振動、通風、採光などの直接 の影響はないものと考えられます。	
	670		口  実	施しない	V	該当なし	のが音はない。ログに考えられるす。	
割辺の	事業者との調整	•						
55	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域に		実施する		一部	実施する	現在のところ該当なし	
	おける大規模な工事の状況を把握し、該当する 事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な 限り工事計画などを調整するように努めます。		口 実	施しない	V	該当なし		

#### ●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実施	の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温	暖化対策を行います。			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度について	□ 実施する □ 実施しない	☑ 一部実施する N □ 該当な	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度 については、CASBEEを提出しますが、現時点では等級、表示制度の 活用については未定です。
57	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネルギー型の機器を採用します。	□ 実施する □ 実施しない	□ 一部実施する	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネルギー型の機器使用については、主にコスト面の理由により現段階でのLED照明等の採用の予定はありません。
58	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネル ギーを活用します。	□ 実施する	□ 一部実施する □ 版当な	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネルギー設備については、主 にコスト面の理由により現段階での採用の予定はありません。
59	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェ ネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入 を検討します。	□ 実施する 図 実施しない	□ 一部実施する □ 該当な	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネレーション、ヒートポン ブシステムなどの導入は、主にコスト面の理由により現段階での予定 はありません。
60	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを 冷媒として使用する装置を有する股備(空調機 器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置 後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排 出)が発生しないよう安全設計に配慮します。	□ 実施する □ 実施しない	□ 下野施する	温室効果ガスを冷媒とする機器を使用する場合は、設置後に配管など から冷媒の漏洩が発生しないよう安全設計に配慮します。 に
61	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制します。	□ 実施しない	□ 一部実施する □ 版当な	上階は、駐車場で開放性があるため、通風性に問題はありません。また、外壁にALOを採用しており、一定の断熱性能はあるもののと考えられます。また、主に住宅側とは建物を離す計画としており、現状より採光、通風が悪化することはないと考えられます。
62	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を 施工します。	□ 実施する ☑ 実施しない	□ 一部実施する	一般的な基本構造とする予定のため、高耐久性、長寿命の建築物とするかは、現段階では未定です。
63	リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を積極的に採用します。	実施する	☑ 一部実施する ○ □ 該当な	資源循環や環境保全に配慮した製品の使用については、再生砕石などを使用するなど一部実施する予定です。
64	高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが 少ない建設資材などを積極的に採用します。	□ 実施する □ 実施しない	<ul><li>☑ 一部実施する</li><li>∴ □ 該当な</li></ul>	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用については。できる 限り採用するよう努めます。
自然環	境を保全し、みどりを確保します。			
65	事前に事業計画地とその周辺の自然環境調査を行い、動植物の生息や生育環境に配慮します。	□ 実施する	□ 一部実施する	周辺の目視調査の結果、配慮すべき動植物の生息は確認されませんでしたので、該当しません。
66	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、で きるだけ快探を避け、既存の植生や地形を活 かして設計します。	□ 実施する □ 実施しない	□ 一部実施する	敷地内にシンボルとなるような樹木などは存在せず、該当しません。 にし
67	既存の植生や地形を改変する場合は、移植などにより既存の植生の保全を図るとともに、表 土は適切に保管し、植栽などに利用します。	実施する	□ 一部実施する □ Ib当5	既存の植生や地形が存在せず、該当しません。 こし
68	事業計画地に隣接する緑地などがある場合には、緑地などを連続させて配置するなど、生物の生息空間の保全に努めます。	□ 実施する □ 実施しない	□ 一部実施する	周辺に隣接する緑地等は存在せず、該当しません。
69	駐車場の線化を行います。	□ 実施する □ 実施しない	□ 一部実施する	駐車場緑化は、建築物上にある駐車場のため、耐久性に配慮し、おこないません。
70	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化などを行います。	☑ 実施する	□ 一部実施する	条例基準に則り、一部壁面緑化を行ないます。 こし

	取 組 事 項		実施の	の有無	ŧ	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	開発により生じた法面に対して緑化を行います。	□ 実施す	る [	- _	-部実施する 該当なし	法面がないため、該当しません。
72	植栽樹種は、地域に合わせた在来樹種を選定 します。	□ 実施す	る [		・部実施する 該当なし	植栽には、在来樹種を選定するよう努めます。
水循環	を確保します。					
73	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)を導入し、水資源を有効に利用します。	実施す		_	-部実施する	雨水利用設備の導入は、主にコスト面の理由により現段階では採用の 予定はありません。
74	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施設又は雨水浸透施設	☑ ☑ 実施す	実施しない 		該当なし 	事業区域3000ml以下の大規模開発事業のため、市基準に則り雨水浸透枡を設置する予定です。
	等を設置します。	実施す	実施しない		該当なし 	ZUICEKE 7 0 ; Z < 7 0
75	オープンスペース、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、浸透性のある舗装などの採用を検討します。		実施しない		該当なし	駐輪場などへの浸透性舗装の採用については、現在採用の検討をしています。
地域の	生活環境を保全します。					
大気・鳥	掻音·振動等					
76	空調機などの騒音を発生させる設備の設置に おいては、低騒音型機器の採用、壁などの遮 音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音 や振動対策を行います。	☑ 実施す	る [		-部実施する 該当なし	騒音の発生する空調機などは、低騒音型のものを採用していくよう検討します。また、隣地側に防音壁を設けるなど、騒音対策を行うよう努めます。
77	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考 えられる場合には、予め窓などに防音サッシを 設置します。	□ 実施す		_	-部実施する	幹線道路側に防音サッシを設置する予定です。
	以世 O み 7 。		実施しない 		該当なし 	
78	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画とします。	☑ 実施す	る [	- c	・部実施する 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は、できる限り配慮した計画とします。
79	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、 換気扇、排気口、廃棄物置場の位置などに配	図 実施す			一部実施する	廃棄物置き場は、近隣への悪臭、騒音などを防止するため、建物内に 設置した計画としています。
	慮します。 		実施しない		該当なし	
80	ボイラー、タービン、エンジンなどの機器を設置 する場合は、万全の排出ガス対策を行いま す。	回 実施す	る [	- c	・部実施する 該当なし	公衆浴場用ポイラーは、排ガス対策済のものを使用します。
81	屋外照明や広告照明については、近隣住民に 対する光の影響を抑制します。	☑ 実施す	る [	- c -	-部実施する 該当なし	屋外照明や広告照明については、近隣に配慮した計画を検討します。
82	建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による 太陽の反射光については、設置の際に光の影 機を4本点、ナナ	□ 実施す		<b>→</b>	-部実施する	太陽光を反射する建築資材等の選定には、周辺への影響を考慮した 選定を心がけます。
	響を考慮します。 		実施しない		該当なし 	
83	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用します。	実施す	る [		・部実施する 該当なし	塗料は、水性塗料やVOC含有率が低いものを極力使用するよう努めます。
	周辺に教育施設、福祉施設や医療施設がある	実施す	·a [			周辺に教育施設・福祉施設・医療施設はありません。しかしながら、騒
84	場合は、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をします。		実施しない	Ø	該当なし	音、振動、通風、採光など、周辺環境に配慮する様努めます。
中高層	建築物(高さ10メートルを超える建築物)					T
85	日照障害については、建築基準法の日影規制 対象外地域(商業と工業地域を除ぐ)を含めた 地域についての日影図を作成し、発生する範 囲を事前に把握し、近隣住民に説明するととも	図 実施す		_	-部実施する	日照障害については、法令を遵守し、事前に近隣への説明を行ないます。
	に、できる限りその軽減をします。		実施しない 		該当なし	
86	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明します。	☑ 実施す	実施しない		・部実施する 該当なし	電波障害の発生予測については、法令を遵守し、事前に近隣への説明を行ないます。

	取 組 事 項		実 施	の有	無		実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
87	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信施 設などによる改善対策を行います。	<ul><li>区</li><li>実</li></ul>	施する 実施しない		一部	3実施する 該当なし	電波障害が生じた場合には、必要に応じた対策を講じます。また、影響予想範囲にはすでにケーブルテレビが導入されており、影響なし、もしくは容易に対応が可能と考えられます。
景観ま	ちづくりに貢献します。						
88	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で 培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮します。	実	施する 実施しない	<b></b>	一部	3実施する 該当なし	吹田市と景観協議した上で、極力配慮した計画とします。また景観協議は、アドバイザー会議を経て現計画で協議完了となっております。
89	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の 類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を 行います。		施する 実施しない	<b>▽</b>	一部	ま施する 該当なし	吹田市と協議した上で、方針に基づいた計画となるよう努めます。また 景報協議は、アドバイザー会議を経て現計画で協議完了となっており ます。
90	景観形成に関わるガイドラインや方針を有する エリアではガイドラインなどに配慮した計画と 設計を行います。	☑ 実	施する		一部	3実施する	ガイドラインに基づき吹田市と協議した上で、計画を進めます。また景 観協議は、アドバイザー会議を経て現計画で協議完了となっておりま す。
91	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えるときは、景観形成地区の指定について協議します。	□ 実	施する 実施しない		一部	8実施する 該当なし	1ha未満のため該当しません。
92	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。	<ul><li>図 実</li></ul>	施する 実施しない		一部	3実施する 該当なし	吹田市と協議した上で、配慮した計画とします。また景観協議は、アド バイザー会議を経て現計画で協議完了となっております。
93	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、 景観まちづくりを推進します。	·	施する 実施しない		一部	3実施する 該当なし	吹田市と協議の上、法令・条例を遵守します。また景観協議は、アドバ イザー会議を経て現計画で協議完了となっております。
安心安	全のまちづくりに貢献します。						
94	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者 が安全に通行できる空間を整備します。	<ul><li>事</li></ul>	施する 実施しない	<b></b>	一部	またする 該当なし	駐車場動線と歩行者、自転車動線の分離に務めた動線計画とするようにします。
95	災害時の防災対策や緊急時に対応できる股 備機器を積極的に導入し、安心安全に配慮し た適切な整備を行います。	· 字	施する		一部	該当なし	建築基準法、消防法を遵守し、安心安全に配慮した計画とするよう努めます。
96	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的 に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を 行います。	<ul><li>区 実</li></ul>	施する		一部	またまなし 該当なし	夜間無人の場合の防犯・災害対策として、火報連動の設備を導入します。